

支援する会ニュース

2022. 1. 27 NO. 66

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

サンケン電気は韓国・労働省の公文に回答せよ！

1月20日、第65回木曜行動がのべ81人の参加で取り组まれました。大寒で寒さもひとしおのなか、元気いっぱいで行動に取り組みました。1月17日には年初の埼玉市民の会の本社前スタンディングが行われました。民主労総からこの間の支援闘争への感謝を込めて尾澤夫妻に記念盾が贈られるとのことです。「逃げるな、出て来い！サンケン電気1・25集会」は活気あふれるもので、用意した資料が足りなくなるほどでした。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からイミンヒさんが「会社の前でテント籠城してきた私達の要求は工場の正常稼働、

たった一つだ。2017年に闘争の末に工場に復帰した時、会社側と交わした約束の一つが工場への投資と正常な稼働だった。でも、その裏で日本のサンケン本社が韓国サンケンの工場廃業に向けて計画を立てていたことを知った。私達は非常にがっかりした」と合意違反を批判しました。韓国からはオヘジンさん、キムウニョンさんもアピール。日韓ネットの仲間が韓国労働省のサンケン電気本社宛の文書を読み上げて紹介しました。韓国サンケン労組と交渉する意思はあるのか、回答せよという内容でした。サンケン電気は政府機関の公文を無視することはできません。埼玉市民の会、旭ダイヤモンド工業の仲間からアピールし、怒りのシュプレヒコールで行動終了しました。

〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会の仲間のアピールで行動開始。韓国からオヘジンさんが「サンケン電気本社は工場を廃業し、労働者を解雇しておきながら韓国で営業を続けている。しかし、このように赤字を理由に工場を廃業しておきながら昨年、韓国だけで2,200万ウォンの莫大な売り上げを上げている。だから韓国サンケンの工場を廃業する理由はどこにもない」と廃業閉鎖を批判。サンケン太郎さん、ゆいの会&ルの会が歌を披露してくれました。この日はアコーディオンも飛び出して賑々しい「舞台」となりました。明大生協労組の挨拶で行動終了。



〔池袋・東京営業所前〕

行動前にI氏と面談。偽装廃業のポイントであるEKEの役割について追及したが、逃げの一手。韓国労働省の文書への回答を迫りましたが、ダンマリ。

渡辺共同代表の発言でスタート。日本からは山日労、埼玉市民の会、日韓ネットワーク。ここでも



韓国・労働省からの公文が紹介されました。韓国からキムウニョンさんが「サンケン電気は私たち組合との約束を守らず、韓国の労働法を破ってまで労働組合を弾圧し、サンケン電気本社周辺の住民の皆さんとの約束をも守らなかった。そればかりか、サンケン電気は私達の闘いに連帯してくれる日本の仲間を不当にもでっち上げて逮捕させるという暴挙まで行ってきた」と批判。韓国からはキムヒョンガンさんもアピールしました。池袋に怒りのシュプレヒコールが響きました。

「逃げるな、出て来い！サンケン電気1・25集会」

コロナ感染第6波の中、予定通り集会は開催され、150人余の参加者で会場がぎっしり。集会には尾澤孝司さんも参加して、不当弾圧を糾弾するとともに、この間の支援への感謝の言葉がありました。日本と韓国の闘いの映像や韓国のオンラインメッセージ、日本の労組や市民団体の連帯発言もありました。

韓国労働省の文書でも明らかのように、サンケン電気は争議の当事者。集会では3項目の要求を含めた集会決議が採択され、後日、本社宛に提出されます。